

理解しやすい服薬指導を目指した 当薬局での取り組み ～外用薬の使用方法について～

○高橋 正幸¹⁾、平野 卓哉¹⁾、瀧本 瑞恵¹⁾、加藤 由紀子¹⁾、
木幡 明子¹⁾、鳴海 克哉²⁾、田澤 佑基²⁾、吉山 友二³⁾、
野田 敏宏¹⁾、²⁾

1) 有限会社 十仁薬局

2) 北海道大学大学院生命科学院

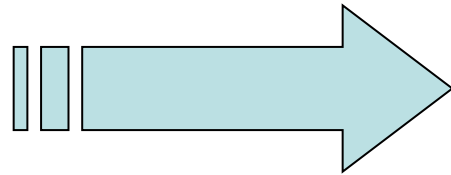
3) 北里大学薬学部

理解しやすい服薬指導を目指して

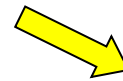
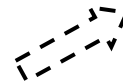
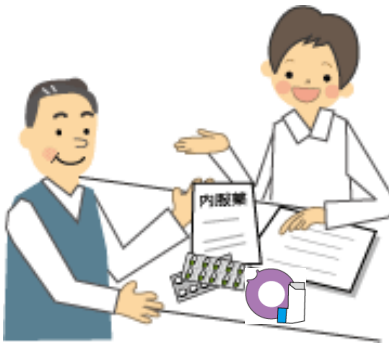
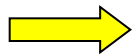
最大の治療効果を引き出す鍵

説明内容

- ・服用方法
- ・使用方法
- ・注意事項
- ・etc.



患者が十分理解すること
〔コンプライアンスの向上〕
〔アドヒアランスの向上〕

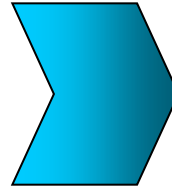


外用薬の服薬指導

画一的な指導箋



使い方の説明を受け、
理解したつもりでも...



患者側の背景



・年齢
・障害
・理解力 etc.

実際使ってみて、
不明な点も出てくる

薬剤師側の背景

・知識
・経験 etc.

外用薬の指導箋に加えて患者の理解力に応じた説明や補足が必要となる。そのため、説明や補足において、薬剤師の知識や経験を活かした服薬指導が行われる。

個別に対応しつつ、均質な服薬指導が必要

患者さんからよく受ける質問

日頃、患者さんがどのような疑問を感じているのか調査を行った。

(平成22年6月～8月、当薬局にて)

～うがい液～

- ・1本で何日使えるの？
- ・作り置きしてもいいかな？
- ・なかなか出てこないよ。

～点耳液～

- ・冷蔵庫にしまったほうがいい？
- ・横になってられない。

～貼付剤～

- ・剥がれちゃったらもう一度貼っていいかな？
- ・いつ貼ればいいかな？

～点鼻薬～

- ・良くなったらやめていいの？
- ・以前もらったものを使ってもいい？
- ・上手に使えないよ。

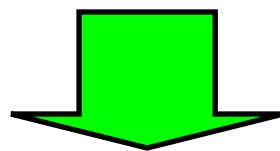
～点眼液～

- ・1回に何滴使えばいいの？
- ・コンタクトの上から使っても大丈夫？
- ・2種類以上点すときは？



目的

個別に対応しつつ、均質な服薬指導

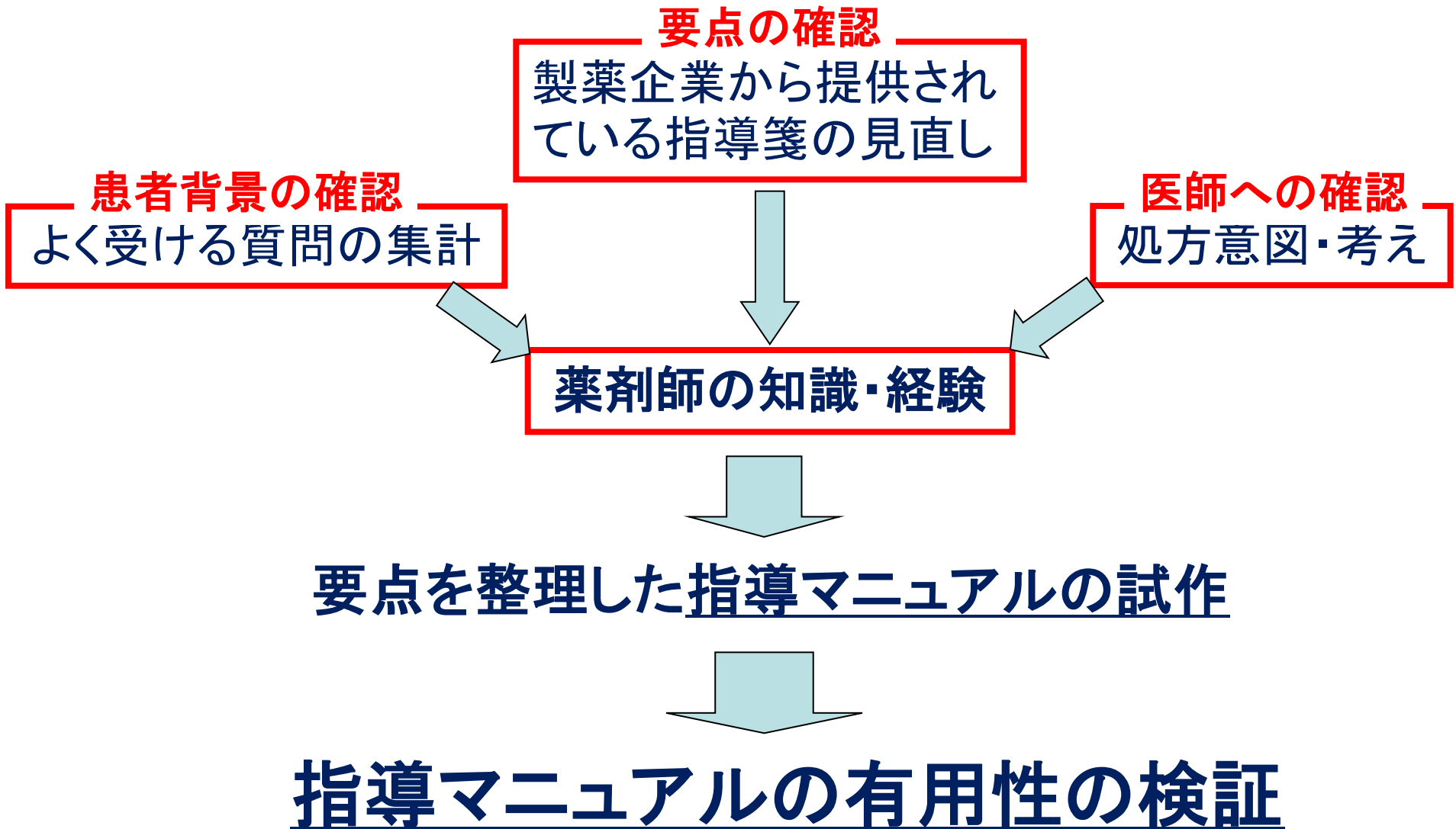


情報の要点を薬局内で統一化

表現方法などの情報を共有

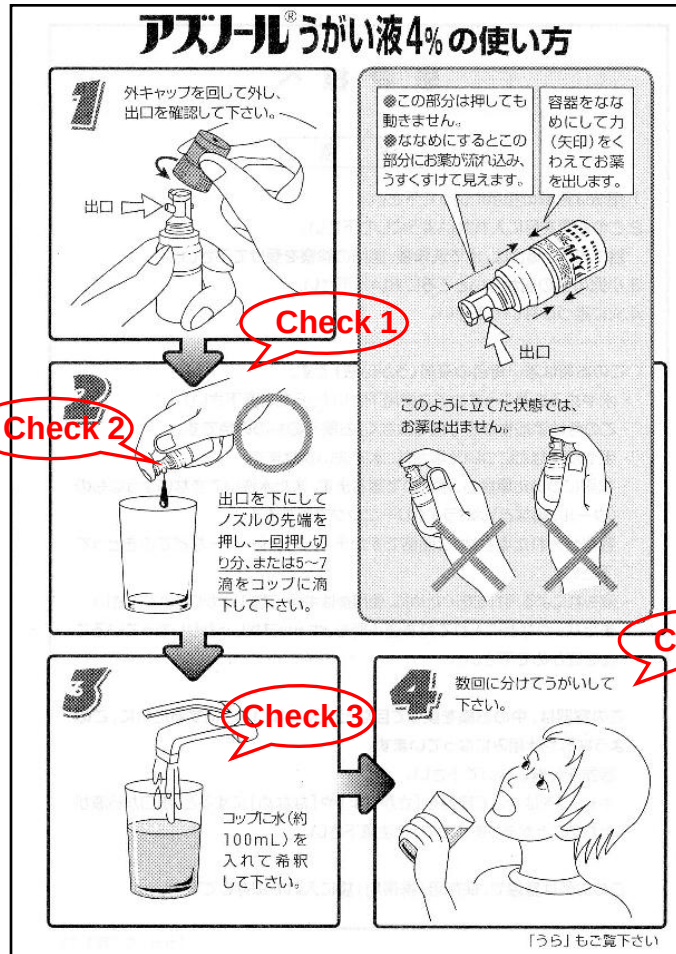


方 法



マニュアル例1:うがい液(アズノールうがい液4%)

~指導箋~



~Q&A~

- Q1. イソジンを使ったことあるけど、違いは？ → A1: イソジンは殺菌的に働き、アズノールは炎症を抑える働きがあります。
- Q2. 飲み込んでしまったら？ → A2: 体に害はありませんので、安心して下さい。
- Q3. 作り置きしたらだめ？ → A3: 雑菌などの繁殖が考えられるので、使用するたびに薄めて作成して下さい。

Check 1:うがい液の滴下

しっかりと頭を下に下げて、先端を押すこと。イソジンなどと異なり、ボトルを押してもお薬は出てきません。

Check 2:うがい液の滴下

出口付近は汚れやすいので、手や衣服につけてしまわないように注意。ただし、水で洗うことで容易に落ちます。

Check 3:うがい液の希釈

1日3~4回行う場合、うがい液5,6滴に対して約100mLの水で希釈する。回数を多く行う場合、もう少し薄く希釈して使用する。

Check 4:うがい方法

- ・基本的なうがい方法は「がらがら」「くちゅくちゅ」であるが、『舌の荒れ』や『口内炎』治療を目的に処方されている場合は、口腔内に薬液が行き渡るように「くちゅくちゅ」うがいを強調する。
- ・泡立ちやすいので口に含みすぎないこと。

指導マニュアルの有用性の検証1

事例：患者の質問に対応した例

- ・処方：アズノールうがい液4%
- ・質問：アズノールうがい液が出てこない
- ・患者背景：主に高齢者

薬がなかなか
出てこないん

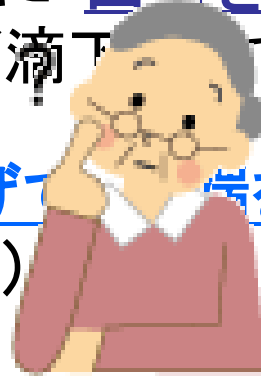


どうやって使う
んだった？



⇒ 指導内容の確認：指導箋に「出口を下にして」との記載があるが、
容器の傾けが足りず薬が滴下していない場合が多数

⇒ しっかりと容器の頭を下げ 先端を押すことを強調して指導
(マニュアルCheck1参照)



質問の要因が明確となり、的確な指導・対応へと結びついた

マニュアル例2:点耳液

～指導箋（小児用）～

耳科用液(点耳薬)による効果的な 点耳・耳浴のやり方

監修:名古屋市立大学 名誉教授 馬場 駿吉 先生



点耳の準備

Check 1

① 外耳道の清拭

医師の指導に従って分泌物を十分排除してください。

② 耳科用液の温度を確認(できるだけ体温に近い状態で使用する。)

冷たい薬液を滴下しますと「めまい」を起こすことがありますので手で暖めるなどしてご使用ください。



点耳・耳浴のやり方

Check 2

① 悪い耳を上にして、横向きに寝てください。

外耳道入口部が水平になるよう頭の位置を保ちます。

② 容器の先端が直接耳にふれないようにして耳科用液を滴下します。(小児に対しては、適宜滴数を減らします。)

中耳炎の場合は、点耳した後、耳たぶを後上方へ引っ張りながらゆすぶるようにしますと外耳道がまっすぐになり、空気の層がなくなり中耳腔まで十分に到達します。
鼓膜の穴が小さい時はつばを飲み込むようにすると良いでしょう。

点耳後そのままの姿勢で約10分間の耳浴を行います。これを1日2回行います。



Check 3

耳浴10分間

Check 4

耳浴の終了

清潔なガーゼ、ティッシュペーパー等を耳にあてて起き上がり、耳の外へ流れ出た耳科用液を拭き取ってください。



Check 1:事前準備

(青字:医師の指導を反映)

耳掃除は積極的に行う必要はない。

(耳掃除を行うことで外耳道に傷をつけてしまう可能性があるため)

Check 2:点耳液の滴下

・冷たいまま耳に滴下しないこと。冷たくなってしまった場合は必ず手で暖めること(特に冬季は注意)。

・手が不自由など、ご自身で行うことが困難な場合は第三者に依頼すること。

Check 3:点耳液の量(医師の指示量)

タリビット(タリザート)に関しては1回量を2・3滴で行う。
(添付文書では、成人に対して6～10滴、小児に対しては適宜滴数を減ずる)

Check 4:耳浴の時間

原則として約10分間の耳浴を行うが、乳幼児などじっとしてられない場合、1分でも長く横の体勢をとらせる。

～Q&A～

Q1. 軟膏が同時に処方されている場合の使用順序は？

→A1.点耳終了後に軟膏を塗れば、軟膏が流れてしまうことはありません。

Q2.綿栓は詰めたほうがいいか？

→A2.自宅で行う場合は特別必要ありません。

指導マニュアルの有用性の検証2

事例：医師の指導に対応した例

- ・処方：点耳液（タリビット耳科用液0.3%）
- ・患者背景：小児（母親による薬剤管理）
外耳道の炎症（痒み）にて受診
- ・初回指導：**指導箋に従い**、点耳液を使うよう指導
（マニュアル作成前）

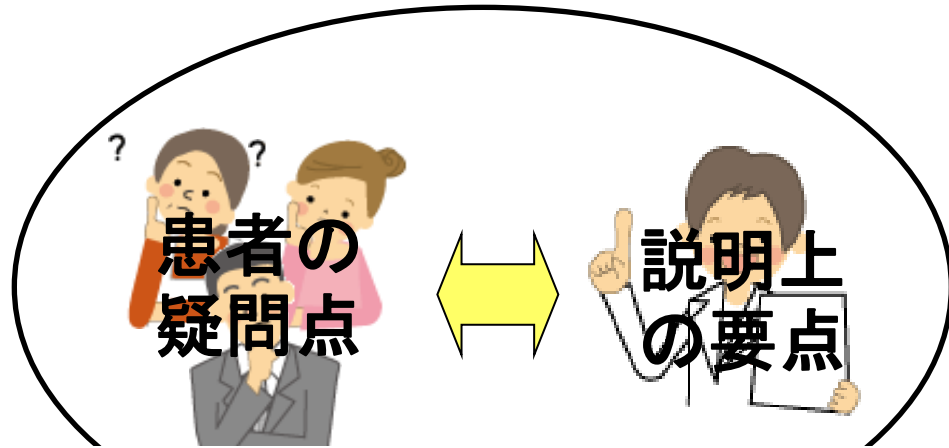


- ・**再診時** 医師より報告：母親が「**外耳道に傷がついている。ゴリゴリと耳掃除はしないでいいからね。**」と指導内容の確認を求めた。
⇒ 指導内容の確認を求めた。指導内容に「**外耳道の掃除をすること**」の記載あり

- ⇒ 指導箋の記載を修正し、耳掃除をし過ぎないように指導（指導マニュアルに反映）

以降、点耳使用後、点耳使用に関するトラブルの発生なし

考 察



より良い服薬指導の展開は、薬剤師業務水準の全体的な向上につながり、患者の治療効果の向上に寄与し得る



紹介していただきました

道薬誌 2011年1月号



日経DI 2010年12月号

